

小学校 第6学年 道徳科学習指導案

(主題名) 誠実に明るい心で (内容項目 A 正直、誠実)

(ねらい) 手品師の立場で「約束を守るか」「夢を叶えるか」を考えることを通して、目指す目標に向かっての選択や努力をすることが、誠実な生き方につながることに気付かせ、自身に対しても誠実で正直に生きようとする心情を育てる。

(教材名) 「手品師」(東京書籍 新訂 新しい道徳 6)

学習過程	学習活動	指導上の留意点	機器等の活用場面
導入 5分	1 人は約束を守るかどうかの判断を迫られるとき、何を思うか、自らの経験を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで、約束を「守る」か「守らないか」の判断で迷った経験があるかをアンケートで問い、その結果を共有させる。</li> <li>様々な理由や問題の捉え方により、複数の感じ方や考え方があることに気付かせる。</li> </ul>	Google フォーム [時間短縮・容易な提示] :アンケートの実施及びその結果の提示]
	めあて 「誠実」や「正直」に生きる生き方とは、どのようなものかを考えよう。		
展開前段 15分	2 教材文を読み、内容の確認をする。 3 課題を発見する。 4 解決策とその理由を考え、話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>手品師が何に悩んでいたのかということに着目させ、範読を聞かせる。</li> <li>手品師が何に迷っていたのかを問い、本時の主題に迫らせる。</li> <li>手品師と同じ立場なら、あなたはどうかと問い、その判断をワークシートに記入させ、ペア(班)等で共有させる。また、なぜそうしようと思ったのか、その判断の理由も説明させる。</li> </ul>	
展開後段 20分	5 解決策についての議論を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>手品師の迷いを男の子が知ったらどのように思うか、また、手品師が大劇場での夢を叶えることを男の子がどう捉えるかを問い、手品師以外の立場から手品師の迷いを多面的・多角的に考えさせた後、考えを発表・説明させる。</li> <li>手品師も男の子も納得できる解決策を問う中で、男の子の期待に応えることへの思いや自分の夢や希望に正直であることについても考えさせる。</li> </ul>	
終末 5分	6 学習を振り返り、自分の考えや思いを深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「誠実」や「正直」に生きることは、どのような生き方なのかを級友の多様な感じ方や自身の感じ方の変容に触れさせながらワークシートに書かせることで自分の考えや思いを深めさせる。</li> </ul>	
	7 教師の説話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師の説話を聞き、誠実に生きることへの思いを深めさせる。</li> </ul>	

